



浜松医療センター 静岡県内初、転移性去勢抵抗性前立腺癌に対する新たな分子標的核医学治療「PSMA リガンド療法(プルビクト®)」を導入

この度、当院では静岡県内の医療機関として他施設に先駆け、転移性去勢抵抗性前立腺癌(mCRPC)に対する新たな分子標的核医学治療薬(PSMA リガンド療法:プルビクト®)を導入し、診療を開始いたします。

本治療は、癌細胞表面に発現するPSMA(前立腺特異的膜抗原)を標的に放射線を直接照射する治療法です。大規模な臨床試験において、化学療法歴のある患者様における全生存期間(OS)および放射線学的無増悪生存期間(rPFS)をともに有意に延長させる効果が証明されております。また、化学療法未経験の患者様においても、病勢進行の抑制とQOL(生活の質)の維持に寄与する新たな治療選択肢となります。

本治療の実施には、厳格な放射線防護基準を満たす放射線治療病室や排水設備等の管理体制が不可欠です。当院は県内初の導入施設として、高度な管理体制のもと、地域のがん治療のさらなる向上に貢献して参ります。

つきましては、本治療の概要や導入の意義について、以下の通り取材の場を設けさせていただきます。

記

- 1 日時 令和8年2月3日(火)16時
- 2 場所 浜松医療センター 1号館1階 会議室
- 3 概要
 1. 治療のメカニズム
 2. 治療対象患者
 3. 治療の流れ
 4. 治療効果や副作用について
 5. 本治療の課題
 6. 当院へ紹介する方法

※詳しくは病院ホームページ→泌尿器科→PSMA リガンド療法(177Lu-PSMA-617を用いた核医学治療:プルビクト®)についてご覧ください。

問合せ先

浜松医療センター総務課

Tel 053-451-2702 Fax 053-451-2766

E-mail d-wakuda@hmedc.or.jp

